

鳥取港振興会 ニュース

港湾だより58号

(平成24年9月発行)

「クラブ・ハーモニー」8月6日入港



「クラブ・ハーモニー」

運航会社 ハーモニークルーズ
25,558総トン、定員753名
全長：176.0m
全幅：25.75m

INDEX

- 平成24年度鳥取港振興会総会開催
- クルーズ客船相次いで入港
- 全国クルーズ客船誘致連絡会第31回会合に参加
- 「みなとまちづくりマイスター」の認定・表彰
- サンセット・漁火クルーシング賑わう
- 「賀露白いか祭り」、「夏まつり」盛況
- 護衛艦「くらま」一般公開
- 外国貿易支援制度(御案内)

発行：鳥取港振興会

平成24年度鳥取港振興会総会を開催

～外国客船を含めたクルーズ客船誘致強化方針が承認される～

平成24年5月22日(火)、鳥取市永楽温泉町の「ホースターとっとり」において、会員54名(内委任状30名)の皆様にご出席いただき、平成24年度鳥取港振興会総会を開催しました。

理事会に引き続き開催された総会では、竹内会長(鳥取市長)の議事進行のもと、平成23年度事業報告及び収支決算報告、平成24年度の事業計画及び収支予算について審議、原案どおり承認をいただきました。

今年度の新たな取り組みとして、外国客船を含めた誘致に力を入れる方針などを確認しました。

また、総会終了後は、会費制の情報交換会を開催し、終始なごやかに会員相互の親睦を深めていただきました。



平成24年8月3日(金)、クルーズ客船の寄港増を図るため、「鳥取港利用促進事業補助金」拡充を盛り込んだ平成24年度補正予算について、書面議決による臨時総会を開催。賛成多数で原案どおり可決いただきました。

平成24年度の主な事業計画(抄)

鳥取港は、鳥取自動車道の県内区間が開通し、高速道路網とのアクセスが極めて良好な港となった。ロシア、中国、韓国等の環日本海経済圏との物流や交流が進む中、関西・山陽地区をはじめとする背後圏企業に高速道路網と鳥取港を有機的に結び付ける提案を行いながら、鳥取港の貨物取扱量の増大を図る。また、北東アジア地域における本港の優位性を県内外にアピールし、外貿案件の新規発掘を図っていく。クルーズ客船の入港は、港の賑わい創出や観光消費等、多くの面で地域活性化が期待できることから、周辺観光資源、地理的条件や他港との連携をプロモーション活動に生かし、国内外の船社や旅行者者などに対してクルーズ客船誘致の取り組みを強化する。

本会は平成24年度に次の事業活動を行う。

1 ポートセールス活動

- (1) 会員企業及び鳥取県東中部等の企業を中心に、地元企業の鳥取港利用の掘り起こしを行う。
- (2) 高速道路と港を結びつけたビジネスを展開できる関西・山陽方面の企業へ鳥取港利用を働きかける。
- (3) アジア・ゲートウェイを目指し、環日本海諸国などとの継続的な外国貿易の取り組みを促す。
- (4) 鳥取県、鳥取市、関係団体と情報の共有化を図り連携して活動を行う。
- (5) 他港のポートセールス取組状況を調査し、参考となる方法を取り入れる。

2 クルーズ誘致活動

- (1) 「鳥取港クルーズ誘致推進会議」を中心に、関係機関と連携し、環日本海諸国など外国客船を含めたクルーズ客船の鳥取港寄港・発着を促す。
- (2) 鳥取港ならではのおもてなしの心を持ったクルーズ客船の受け入れを行う。
- (3) クルーズ企画担当者への積極的な招致。
- (4) 「全国クルーズ客船誘致連絡会」に参加し、クルーズ業界の最新情報及び有益情報を収集する。また、他港と連携しクルーズ客船誘致を促進する。

クルーズ客船相次いで入港

平成24年8月6日(月)、韓国初のクルーズ客船会社であるハーモニークルーズにより運航されている「クラブ・ハーモニー」が『日本一周と釜山クルーズ』で、早朝に鳥取港に入港しました。鳥取港への外国籍によるクルーズ客船入港は初めて。

歓迎式典では、鳥取港振興会長の竹内功鳥取市長、平井伸治鳥取県知事があいさつし、イ・ヒョンシク船長に記念品を手渡しました。

また、傘踊りや和太鼓の郷土芸能披露、サザエの壺焼きの試食のほか、足湯の提供など、鳥取港ならではの趣向により、クルーズのお客様をおもてなしました。イ・ヒョンシク船長は「鳥取の歓迎は最高だったと本国へ伝えたい」と礼を述べられました。

当日は、境港に夕方寄港。鳥取港からオプションツアーに参加された乗船客の中には、鳥取県内で観光後、境港で再乗船し、次の寄港地である韓国・釜山に向け出航しました。



韓国船籍の「クラブ・ハーモニー」、鳥取港に初入港!



平井鳥取県知事(右)よりイ船長へ入港プレート贈呈



宮坂流津山銭太鼓保存会鳥取連合「輝」による勇壮な傘踊り



賀露みどり保育園児による可愛らしいマーチング



逢鷲太鼓連の迫力ある演奏が歓送迎行事を盛り上げました



岸壁で、いなば温泉郷協議会による足湯でゆったり、のんびり!

平成24年9月23日(日)、日本クルーズ客船株式会社の企画・実施による「秋の日本一周探訪クルーズ」で、「ばしふいっくびいなす」が寄港しました。同船の鳥取港への寄港は3年連続となります。

当日は、鳥取港クルーズ誘致推進会議が中心となって歓迎式典等を実施。岸壁での郷土芸能披露、特産品販売、イカ焼きの試食のほか、「ばしふいっくびいなす」砂像の展示、足湯の提供などで乗船客をおもてなしました。

さらに、船内で「傘踊り」の体験、「名探偵コナン」の塗り絵はがき・缶バッジ等のオリジナルグッズ作成のイベントを開催、お客様には船内での時間を有意義に楽しんでいただきました。

また寄港に合わせて、社団法人日本外航客船協会、中国地方クルーズ振興協議会、当振興会との共催で開催したセミナーと船内見学会には100名以上の県民が参加し、株式会社PTSの小泉講師による「船旅のお薦め」の講演と豪華なホテルさながらの船内に、見学者からはぜひ船旅をしてみたいとの声が漏れていました。



当振興会長の竹内鳥取市長(右)より由良船長へ入港プレート贈呈



鳥取市観光コンベンション協会連の華やかな傘踊り



賀露小学校合奏部の演奏にお客様も聞き入っていました



「ばしふいっくびいなす」砂像を特別製作、鳥取ならではの歓迎

全国クルーズ客船誘致連絡会第31回会合に参加

クルーズ客船の入港は、多くの乗船客による観光消費、関連産業への経済効果が期待できることから、全国各地の港湾で客船誘致への取り組みが活発化しています。

このため、客船誘致の情報収集、クルーズに関する知識向上等を図る目的で、「全国クルーズ客船誘致連絡会」(事務局：日本海事新聞社)に昨年入会しました。

平成24年6月7日(木)、高松市で開催された全国クルーズ客船誘致連絡会第31回会合には、当振興会事務局を含め全国から69名が参加。会合では、国内外のクルーズ船社の状況、動向及び高松港の客船誘致の取り組み等が紹介されました。

参加した他港との情報交換など連絡会で得た情報は、早速クルーズ客船誘致活動に役立たせていく所存です。

「みなとまちづくりマイスター」の認定・表彰

鳥取港にクルーズ誘致を推進していることでもご尽力いただいている、NPO法人「鳥取・賀露みなとオアシス」理事長の岸 安志氏が、アウトドアレジャー体験やみなとオアシス夏まつりなどの海を体験するイベントを開催する等、地域の振興とまちづくりに貢献したとして、8月7日「みなとまちづくりマイスター」に認定されました。併せて、国土交通省港湾局長表彰を受賞されました。

「みなとまちづくりマイスター」は、みなとまちづくりを通じて地域の賑わい創出や地域の活性化などの成果が得られた事例において中心的な役割を担った方の中から、他の模範としてふさわしい方を、毎年度1回有識者からなる選定委員会(第三者委員会)を経て、社団法人ウォーターフロント開発協会が認定するものです。

鳥取県からは2人目のマイスターで、中国地方では5人目の誕生となります。



岸理事長(左)と山縣国土交通省港湾局長

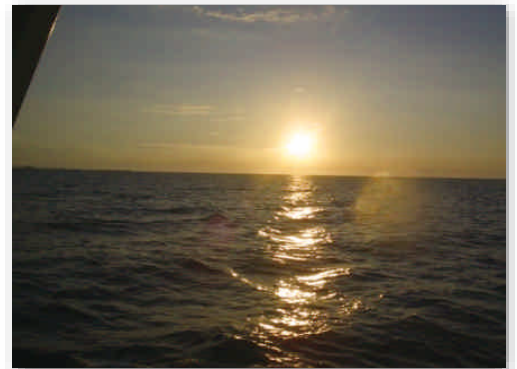
サンセット・漁火クルージング賑わう

恒例となった賀露みなと観光協会(会長：山田哲彦氏)主催の「サンセット・漁火クルージング」が7月15日から8月11日まで開催されました。

今年は天候不順で延べ7回の出港になりましたが、285名(うち子供30名)の方が乗船されました。

水平線に沈む美しい夕日、済んだ海、赤く染まる砂丘が乗船客を魅了。セットとなっている鳥取港周辺での食事も新鮮な魚介類たっぷりで大好評でした。

今後も多くの皆さんに、サンセット・漁火クルージングで至福のひと時を楽しんでいただきたいものです。



「賀露白いか祭り」、「夏まつり」盛況

7月16日(月・海の日)、鳥取港の賀露(かる)地区で、鳥取の夏を代表する幸である「白いか」を存分に味わってもらおう「賀露白いか祭り」が開催されました。「白いか丼」を食べ比べできる「白いか丼グランプリ」、「いか姿焼き」など美味しいグルメを集めた屋台が道路沿いに出店、祭り開始から各屋台は盛況で、旬の味覚に舌鼓を打ちました。

さらに鳥取港のマリンピア賀露では、海の魅力を楽しむ「カヌー体験」、県魚「ヒラメ」のつかみ取り、巡視艇の乗船体験などができる「夏まつり」も同時開催されました。

当日は、両会場を結ぶシャトルバスも運行され、会場は約4,300人の人で賑わいました。



沿道を歩いて「白いか丼」を品定め



「ヒラメ」のつかみ取り

護衛艦「くらま」一般公開

7月28日(土)、29日(日)、海上自衛隊第2護衛隊群(長崎県佐世保市)の護衛艦「くらま」(全長159メートル、5,200トン)が訓練航海の途中で、鳥取港1号岸壁に寄港し、一般公開が行われました。

鳥取県初寄港の護衛艦を一目見ようと、炎天下にもかかわらず多数の親子連れなどが詰め掛けて、艦内は賑わいました。

来場者は、5インチ速射砲や対潜水艦魚雷発射装置、哨戒ヘリコプターなど、護衛艦の頼もしい威容に興奮しながら、記念撮影したり、乗組員に質問したりと思い思いに楽しんでいました。



外国貿易支援制度(御案内)

コンテナ航路など定期航路のない鳥取港から、より多くの貨物を外国に輸出入するため、鳥取港を利用して貿易を行う事業者の方に、鳥取港での港湾使用料の減免や港湾荷役料の一部を補助します。

支援内容

(1) 港湾荷役支援

鳥取港での港湾荷役料の一部を補助します。

1取引の港湾荷役経費×補助率1/2(補助上限500千円)

(2) 港湾施設使用料減免

「(1) 港湾荷役支援」を受けた補助事業者に対して、同貿易に係る鳥取港を利用した港湾使用料が減免されます。

岸壁使用料、荷役機械・上屋・野積場使用料を100%減免(最長10日間)

詳しいお問合せは、鳥取港振興会事務局へ気軽にお尋ねください。

今後のスケジュール(鳥取港関係)

「鳥取かにフェスタ2012」

11月17日(土) 9:00～14:00

於マリンピア賀露

■問合せ先: TEL 0857-28-0111

鳥取かにフェスタ実行委員会

鳥取港振興会新会員(敬称略)

— よろしくお願ひします —

組織名 **株式会社食のみやこ鳥取**

代表者 代表取締役 坂根 國之

所在地 鳥取市賀露町3丁目323

組織名 **山陰松島遊覧株式会社**

代表者 代表取締役 川口 博樹

所在地 鳥取県岩美郡岩美町大谷2182-12



118番は海上保安庁緊急電話番号です。

編集後記

入港歓送迎行事では、いつもお世話になっているNPO法人「鳥取・賀露みなとオアシス」の岸理事長が、「みなとまちづくりマイスター」に認定され、表彰されました。当振興会にとっても大変喜ばしい朗報でありました。ぱちぱちぱちい〜(拍手)

鳥取を訪れるお客様へ思い出に残る船旅となるよう、裏方に徹してお手伝いくださる岸理事長の協力は欠かせません。感謝。(森下)

鳥取港振興会事務局

〒680-8570

鳥取市東町一丁目220番地(県本庁舎5階)

TEL.(0857)22-1836

FAX.(0857)22-1848

麻薬・けん銃などの密輸情報は税関へ!

「安全・安心な社会を目指して」

密輸ダイヤル(24時間受付)

☎ 0120-461-961

シロイ クロイ

神戸税関 境税関支署 鳥取監視署

TEL.0857-25-1115